

さあ、仕事をしよう



川口 誠一
(仙台北)

「政治とは税」、これは故宮沢喜一氏の言。税の世界に半世紀身をおく私から言えば、税とは暮らしてあり、庶民であり、つまり人間社会そのものではないか。ならば、その根底には何がなければならぬか。私はそこに時代に流されない哲学性、そして絶対的な平和思想が必要と考える。平和無くして文化が語れようか。社会が語れようか。ましてや税が語れようか。「自分の命と引き換えにしても平和を護る。例えば核兵器に殺されるよりも、核兵器に反対して殺される方を選ぶ、この主張こそが絶対的な平和主義」(宇都宮徳馬元参議院議員)「原水爆を、いずこの国であろうと、それが勝っても負けても、それを使用したものはことごとく死刑にすべきである」(戸田城聖創価学会第二代会長)生涯現役、生涯青年の心で、人類の努力の結晶であるこの尊い社会を、私もまた引き継いでいきたい。